

令和3年度 福岡市高速鉄道事業会計予算の概要

1. 予算

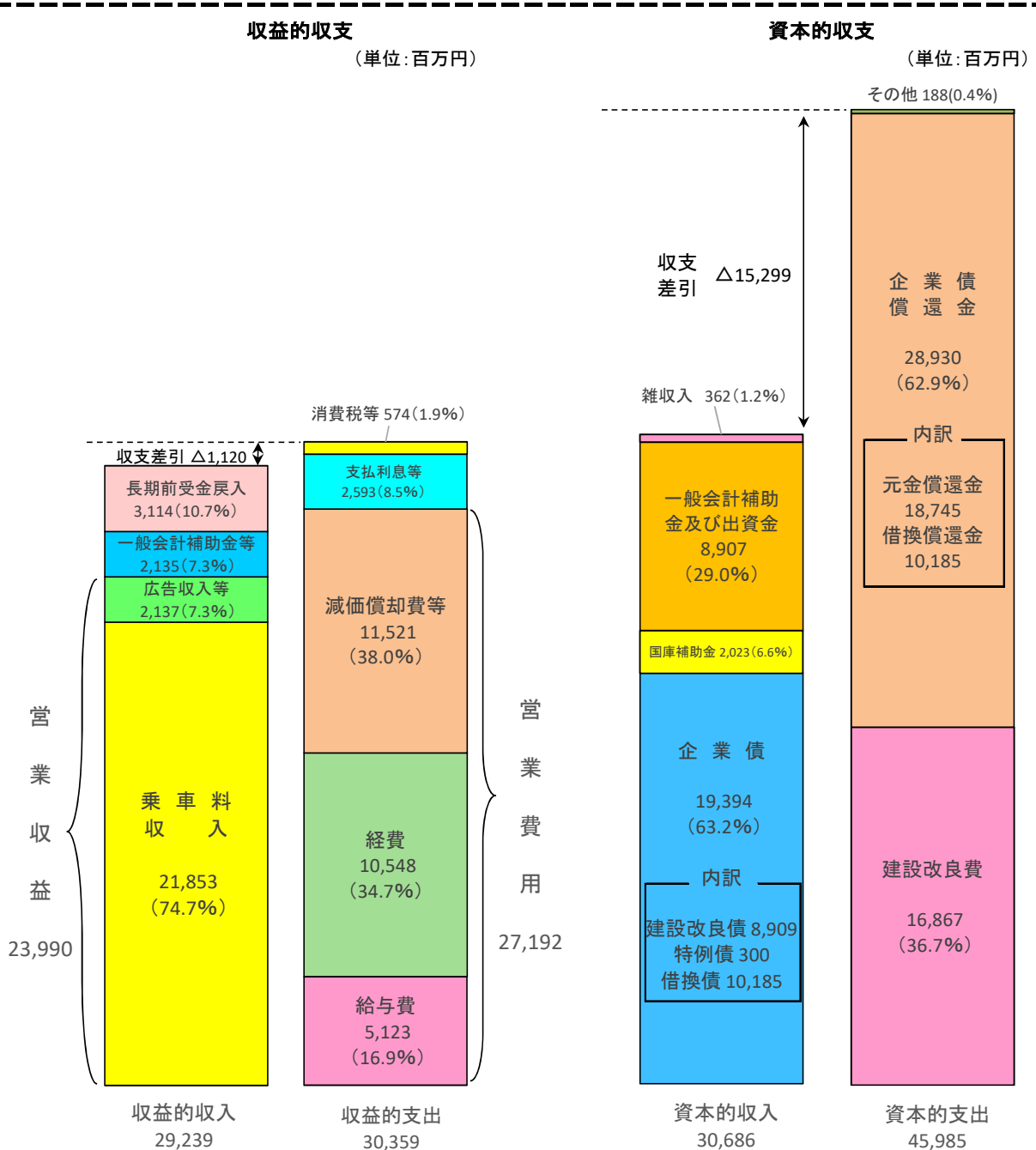
収益的収支	金額
収入	29,239 百万円
支出	30,359 百万円
差引	△ 1,120 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	△ 2,040 百万円

令和2年度末累積損益 △ 114,096百万円
 令和3年度損益 △ 2,040百万円
 令和3年度末累積損益 △ 116,136百万円

資本的収支	金額
収入	30,686 百万円
支出	45,985 百万円
差引	△ 15,299 百万円

※ 減価償却費などの損益勘定留保資金等で補てん

令和3年度末累積資金過不足額 △ 4,293 百万円



※新型コロナウイルス感染症による減収を補てんするため、企業債(特別減収対策)を8,052百万円借り入れる。

2. 業務の予定量

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線) 姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線) 中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線) 橋 本 ~ 天神南	12.0 キロメートル
計	29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 220両 (43編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,713,352 キロメートル

(4) 年間輸送人員 117,201,500 人

(5) 一日平均輸送人員 321,100 人

○内訳	3年度	2年度	差引
空港・箱崎線(a)[乗継ぎ分含む]	270,800 人	427,000 人	△ 156,200 人
七隈線(b)[乗継ぎ分含む]	64,900 人	98,500 人	△ 33,600 人
乗継ぎ分(c)	14,600 人	24,000 人	△ 9,400 人
全線計(a)+(b)-(c)	321,100 人	501,500 人	△ 180,400 人

3. 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	11,429,000 千円
営業線改良事業	事業費	5,438,433 千円

4. 重要施策

(1) 七隈線延伸事業の推進

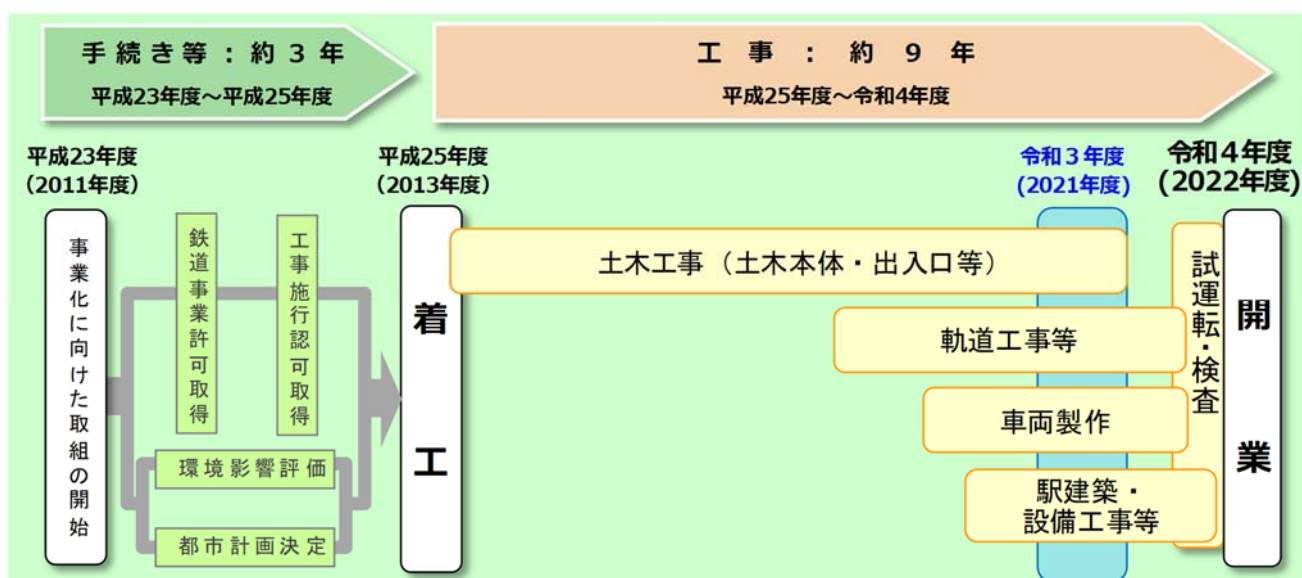
11,429,000 千円

土木工事、軌道工事および車両製作を引き続き推進するとともに、駅建築・設備等に関する工事に本格的に着手し、安全対策に万全を期しながら令和4年度の開業を目指す。

また、事業の進捗状況等の情報を丁寧に分かりやすく発信する。

<事業の概要>

- ◇延伸区間 天神南～博多
- ◇建設キロ 約1.4 km (営業キロ約1.6 km)
- ◇建設費 約587億円
- ◇開業予定 令和4年度
- ◇利用人数 延伸区間で約8.2万人/日(需要定着後)うち新規利用者数…約2.3万人/日



(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
七隈線延伸事業	11,429,000	7,619,000	3,810,000	<ul style="list-style-type: none"> ・土木本体工事 ・軌道工事 ・3000系車両製作 (搬入・既設区間での試運転) ・駅建築・設備工事等
総事業費:約587億円(事業期間:平成24年度～令和4年度) 実績額:27,606,557千円 令和元年度繰越額:5,909,779千円				

(2) 安全・安心の確保

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組む。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信する。

ア 施設、車両などの安全性の確保

2,226,276 千円

トンネルなどの土木構造物について、長期的な補修計画に基づき改良工事を実施するとともに、自動列車制御装置（ATC）や七隈線運行管理システムなどを計画的に更新し、施設・設備等の安全性の確保に取り組む。

また、車両については、2000系車両の大規模な改修や3000系車両の列車制御装置の更新等を行い、快適性や安全性を向上させるとともに、製造後40年を迎える1000N系車両更新のため、新造車両を発注する。

そのほか、姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した大規模改修事業を推進する。

イ 災害対策などの強化

54,004 千円

局地的な集中豪雨などによる浸水に備え、施設の浸水対策を強化する。

また、駅や車両などにおける消毒の実施やマスクアンドライドの推進など、新型コロナウイルス感染症予防対策に継続して取り組む。

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
ア 施設、車両などの安全性の確保	2,226,276	1,824,142	402,134	
土木構造物改良工事	212,503	199,978	12,525	トンネル断面修復 等
総事業費：1,869百万円（事業期間：平成25年度～令和4年度） 実績額：1,320,154千円				
姪浜駅リニューアル	84,746	101,470	△16,724	外壁改修工事
総事業費：399百万円（事業期間：平成27年度～令和4年度） 実績額：178,242千円				
自動列車制御装置(ATC)更新	19,349	369,683	△350,334	対象駅：貝塚駅(7駅中7駅目)
総事業費：3,396百万円（事業期間：平成18年度～令和4年度） 実績額：2,598,637千円				
電力遠制装置更新	356,763	-	356,763	七隈線延伸事業に伴う機器の新設・改良、主要機器の更新 等(再掲額を含む)
総事業費：702百万円（事業期間：令和2年度～令和4年度）				
七隈線運行管理システム更新	429,462	-	429,462	七隈線延伸事業に伴う機器の新設・改良、主要機器の更新 等(再掲額を含む)
総事業費：801百万円（事業期間：令和2年度～令和4年度）				
2000系車両大規模改修	613,810	606,080	7,730	車体の補修、主要機器の更新 等
総事業費：2,704百万円（事業期間：平成30年度～令和5年度） 実績額：300,585千円 令和元年度繰越額：70,540千円				
3000系車両列車制御装置更新	509,643	194,480	315,163	自動列車制御装置、自動列車運転装置の更新 等
総事業費：2,457百万円（事業期間：平成30年度～令和7年度） 令和元年度繰越額：191,160千円				
姪浜車両基地大規模改修	-	352,451	△352,451	管理棟大規模改修工事 等
総事業費：1,469百万円（事業期間：平成30年度～令和6年度） 実績額：57,605千円 令和元年度繰越額：13,000千円				
イ 災害対策等の強化	54,004	20,120	33,884	
浸水対策事業	15,749	20,120	△4,371	施設の浸水対策改良工事
新型コロナウイルス感染症対策	38,255	-	38,255	駅や車両の消毒、マスクアンドライドの推進、お客様用消毒液の全駅配置 等
計	2,280,280	1,844,262	436,018	

(3) 快適で質の高いサービスの提供

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、超高齢社会に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進する。

ア みんなが使いやすい環境づくり 197,714 千円

駅バリアフリールートの充実及び観光客などの移動円滑化の推進を図るため、博多駅筑紫口及び天神駅東口において、ホーム階からコンコース階までのエレベーター設置工事を実施する。

イ 快適・便利な環境づくり 89,024 千円

お客様に気持ち良く快適にご利用いただくため、乗車マナー向上に関する取組みを継続するとともに、駅の空調設備を改善する。

また、七隈線博多駅（仮称）及び中間駅（仮称）において、開業後のお客様のより安全な乗降を確保するため、ホームドアに3Dセンサーを導入する。

ウ 超高齢社会に対応したサービスの提供 10,148 千円

さらなる高齢化に対応するため、駅トイレの洋式化を推進する。

エ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供 74,949 千円

福岡市を訪れる国内外からのお客様が安心して快適に利用できるよう、地下鉄駅コンシェルジュを博多駅に引き続き配置するとともに、地下鉄車内や駅の案内サインについて、外国語表記を含め、より分かりやすい案内表示に改修する。

あわせて、駅トイレの洋式化を推進する。

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
ア みんなが使いやすい環境づくり	197,714	316,279	△118,565	
駅バリアフリールート の充実(昇降機増設)	197,714	316,279	△118,565	博多駅筑紫口エレベーター設置工事、 天神駅東口エレベーター設置工事
イ 快適・便利な環境づくり	89,024	311,294	△222,270	
乗車マナーの向上	55,818	62,075	△6,257	乗車マナー向上キャンペーン、エスカレー ター音声案内装置設置 等
混雑の緩和	423	32,965	△32,542	車内混雑状況駅掲示費用(再掲額)
より安全な乗降の確保	2,192	121,491	△119,299	七隈線新駅ホームドア3Dセンサー導入、 車内自動放送文変更
駅空調の改善	30,591	94,763	△64,172	空調設備の改善(七隈線)
ウ 超高齢社会に対応した サービスの提供	10,148	19,989	△9,841	
駅施設の改良	10,148	19,989	△9,841	トイレ洋式化
エ 来街者にも使いやすい 環境整備とサービスの提供	74,949	82,296	△7,347	
インバウンド対策	74,949	82,296	△7,347	駅案内サインの外国語表記、地下鉄駅コ ンシェルジュ、トイレ洋式化 等 (再掲額を含む)
計	371,835	729,858	△358,023	

(4) まちづくりへの貢献

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進する。

また、総合交通体系構築の観点から他の交通機関との連携強化に取り組むほか、省エネの推進など環境対策に関する取組みを推進する。

ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など 233,178 千円

天神駅東口において、エレベーター設置工事を実施し、さらなるバリアフリー経路の充実を図るとともに、賑わいスペースの供用を開始するなど、駅のリニューアルに取り組む。

また、博多駅筑紫口においても、エレベーター設置工事の実施や、新たな店舗区画の創出など、お客様にとってより使いやすい駅となるようリニューアルに取り組む。

イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携 32,275 千円

駅ごとの近隣の街並みや地域の歴史、観光資源などの特性を踏まえた駅の魅力づくりに取り組むことにより、各駅の個性化・活性化を図るとともに、各駅の魅力を効果的に発信する。

また、世界水泳選手権大会の気運醸成に向けて、記念乗車券販売や車体広告などにより大会のPRを行うとともに、福岡市を訪れる国内外からのお客様が安心して快適に利用できるよう、駅案内サインなどを改修する。

ウ 環境対策に関する取組み 294,187 千円

省エネの取組みとして、駅施設やトンネル内の照明のLED化を計画的に実施し、消費エネルギーの削減に取り組む。

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
ア 沿線まちづくりに対応した 駅施設の改良など	233,178	538,410	△305,232	
天神駅東口リニューアル事業	81,900	508,210	△426,310	天神駅東口エレベーター設置工事 (再掲額)
総事業費:795 百万円 (事業期間:平成29年度～令和3年度) 実績額:136,749 千円 令和元年度繰越額:67,763 千円				
博多駅筑紫口リニューアル 事業	151,278	30,200	121,078	博多駅筑紫口エレベーター設置工事、 利便施設改良工事 等(再掲額を含む)
総事業費:267 百万円 (事業期間:令和元年度～令和5年度) 実績額:5,321 千円				
イ 沿線の地域、イベント、施設 などとの連携	32,275	33,605	△1,330	
駅の魅力づくり	7,651	8,981	△1,330	副駅名の設定、装飾 等
世界水泳選手権大会の 気運醸成	24,624	24,624	-	記念乗車券販売、車体広告、案内サイン の改修 等(再掲額を含む)
ウ 環境対策に関する取組み	294,187	221,538	72,649	
駅照明等のLED化改良工事	294,187	221,538	72,649	博多駅、貝塚駅、トンネル内(唐人町～ 中洲川端間)の照明
総事業費:1,539 百万円 (事業期間:平成23年度～令和5年度) 実績額:869,018 千円				
合計	559,640	793,553	△233,913	

(5) 経営基盤の強化

経営基盤を強化するため、データ分析に基づく戦略的な営業施策の推進、広告・構内営業収入の確保や遊休資産の有効活用に取り組むとともに、安全性の確保を最優先に、施設・車両等のライフサイクルコストの最小化と投資の平準化を図るアセットマネジメントや経営の効率化を推進する。

また、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組む。

ア 戦略的な営業施策の推進

4,015 千円

新型コロナウイルス感染症の影響による「新しい生活様式」の定着など、今後の地下鉄を取り巻く様々な環境の変化に対応するため、各種営業データの分析を通して地下鉄利用者の現状把握に努めるとともに、延伸開業をにらんだ新たな施策の検討を行う。

イ 人材確保と育成

19,546 千円

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を育成していくため、研修の充実に取り組むとともに、鉄道に関する幅広い知識の習得や専門技術の向上に向けた取組みを推進する。

ウ 地下鉄開業40周年に関する取組み

6,647 千円

地下鉄開業40周年を記念した事業を企画し、お客様や関係者への感謝の気持ちを表すとともに、誰もが使いやすく環境にやさしい地下鉄の利用促進に取り組む。

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
ア 戦略的な営業施策の推進	4,015	4,367	△352	
営業データの分析・活用	4,015	4,367	△352	各種営業データの分析を通じた新たな施策の検討 等
イ 人材確保と育成	19,546	21,485	△1,939	
安全・安心を支える人材の育成	19,546	21,485	△1,939	基本研修、派遣研修、資格取得支援 等
ウ 地下鉄開業40周年に関する取組み	6,647	-	6,647	
地下鉄40周年記念事業	6,647	-	6,647	地下鉄開業40周年記念イベント、掲示物の制作 等
合計	30,208	25,852	4,356	